

2012/9/19

## 柏の景気情報（平成24年8月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課  
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18  
TEL : 04-7162-3305  
FAX : 04-7162-3323  
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>  
E-mail : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

## 柏の景気情報（平成24年8月分）

○ 調査期間 : 平成24年8月23日 ~ 8月30日

○ 調査対象 : 柏市内161事業所及び組合にヒアリング

### ＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	161	100	62.1%
建設	45	29	64.4%
製造	35	19	48.6%
卸・小売	44	35	79.5%
サービス	37	17	45.9%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

### 質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

### 質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1 \text{ 増加他の回答割合} - 3 \text{ 減少他の回答割合}$$

#### ※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

#### ※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

## 【平成24年8月の調査結果のポイント】

### ◀ 業況DIが大幅に悪化 猛暑で売り上げや客足に影響 ▶

○8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲38.0(前月水準▲29.8)となり、マイナス幅が▲8.2ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲29.4(同▲35.2)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲26.3(同▲11.7)、卸小売業▲60.0(同▲48.5)、建設業▲24.1(同▲14.2)である。

【建設業】からは、「柏近郊の新築工事が昨年同様少ない」(石工れんがタイルブロック工事業)、「家庭用太陽光発電の設備工事が増加した。節電の意識が高まり、機器の入れ替えは消費電力にポイントを置いている」(電気工事業)、「秋の受注が多くなってきました。工事が集中すると従業員が不足してしまう」(塗装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「8月は各企業の夏季休暇が長かったため売上採算は悪化。4～6月までは売上採算も前年より増加していたが、受注単価の値引き要求が強くと他社との競争が激化」(その他の金属製品製造業)、「当社は部品メーカーであるが、最終商品の競争の激化に伴って、当社の製品の単価も長期的に下落を続けている。原材料として継続的に購入している、銀、白金などの価格が今後、値上がりしそうであり、影響を受ける。外注先で、操業停止する会社は何社かある」(ガラス・同製品製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「前年、放射能の風評被害影響を受けた、食品・生鮮・精肉などは前年を上回って好調に推移。入店客数を前年と比較すると、お盆に新規催を開催した週で+5.0と好調であったが、8月を通してみると、微減の結果となっている」(百貨店)、「空調・照明等、節電が経費削減とられる場合があり、「甘い」節電に。このため「昨年同月」とは、で若干経費が上昇」(その他の各種商品小売業)、「販売価格が依然として低い状態が続いている」(一般機械器具卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「新規来館者が減少。お盆休み明けから若干戻りつつある」(冠婚葬祭業)、「競合他社の参入により柏エリアの宿泊の一室単価が減少。稼動は予算をクリア出来るが、一室単価が大きく下がり宿泊利益を圧迫。重油の価格が少しずつではあるが上がってきており、水光熱費が増える」(ホテル)、「個人需要・法人需要ともほぼ前年並み。先行きはこれからの動きになるので受注状況を注視したい」(旅行業)などのコメントが寄せられた。

#### ◎猛暑

各業種から、「8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がったほか、晩夏初秋物のプロパー商材が動いたことから、売上高は順調な推移となった。お盆休みによる帰省客などファミリー客が増加し、レストランを中心に好調であった」(その他の各種商品小売業)、「気温が30度を超えると業種的(生洋菓子)に厳しい。特に後半は残暑厳しく昨年よりも売上減になりました」(菓子・パン小売業)、「猛暑でお客様の出足が鈍る」(菓子・パン小売業)、「残暑が厳しい中野菜の消費が減っていることが推測され入荷減に加え単価も安く動きは鈍化傾向にあります。果実は全般的に高値取引となって暑さと比例しているようです」(食料・飲料卸売業)、「酷暑によるガス消費量の減少。仕入単価はこれから上昇の姿勢。安売りによる業者切り替えなど今から好材料無し。ただし社員が自覚し顧客の傾向に応え切替件数は減少している」(燃料小売業)などのコメントが寄せられた。

#### ◎消費税増税

各業種から、「2極化のさらなる進行、忙しいところはさらに忙しく、消費税導入による駆け込み需要」(一般土木建築工事業)、「柏市内での新築工事の見積もりは確実に減っている。一部の建設会社は除染工事で忙しいようだが本来の建設工事は減少しているようだ。ただ消費税値上げの影響かりフォーム工事の見積もりが増えている」(その他の職別工事業)、「消費税増税、老後への不安、高齢化の影響でどんどん経営は難しくなっていくと思う。しかし、団塊の世代の層は厚く、まだまだ消費は急な落ち込みはないと思っている。ターゲット層にきちんと標的を絞って行うマーケティングの勉強が必要である」(各種食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

#### ◎売上減少

各業種から、「年々売上は縮んできています。それに対応できる形にするには今までの概念を変化させる勇気を持たねばならないと思う」(印刷業)、「前年同月との比較では売上は減少してしまった」(酒場・ビヤホール)、「暑さの関係で昼間の客足がほとんどない。閉店時間が早い一般の売上ダウン」(その他の飲食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲20.3	▲9.6	▲21.7	▲35.2	▲10.0
4月	▲26.2	▲20.6	▲22.7	▲41.1	▲11.1
5月	▲28.4	▲24.1	▲17.6	▲35.4	▲33.3
6月	▲28.8	▲13.3	▲22.2	▲57.5	▲6.2
7月	▲29.8	▲14.2	▲11.7	▲48.5	▲35.2
8月	▲38.0	▲24.1	▲26.3	▲60.0	▲29.4
見通し	▲19.0	▲24.1	▲10.5	▲28.5	±0.0

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成24年8月の業況についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲38.0(前月水準▲29.8)となり、マイナス幅が▲8.2ポイント拡大した。

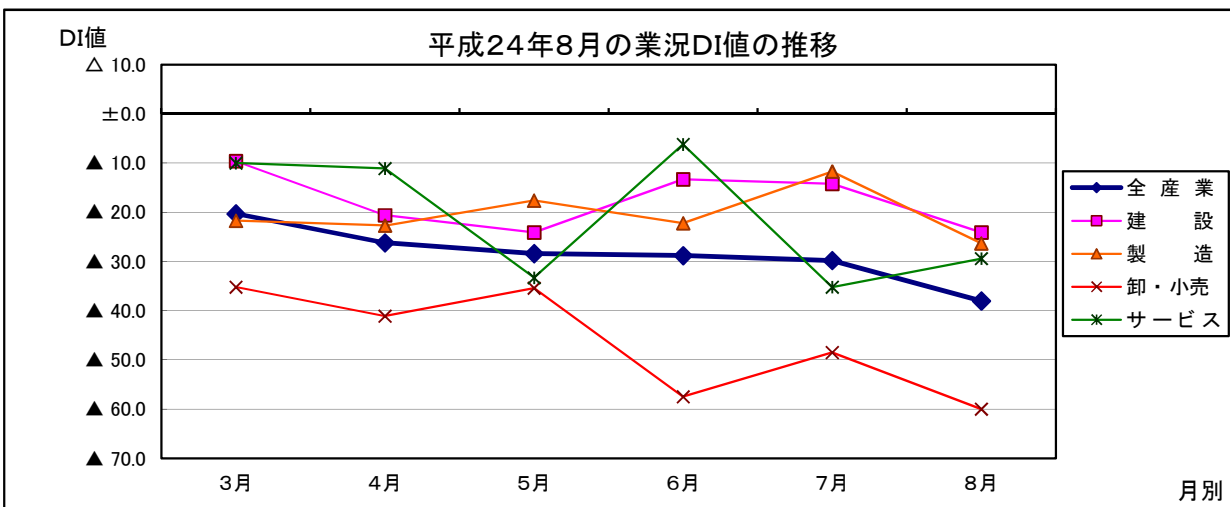
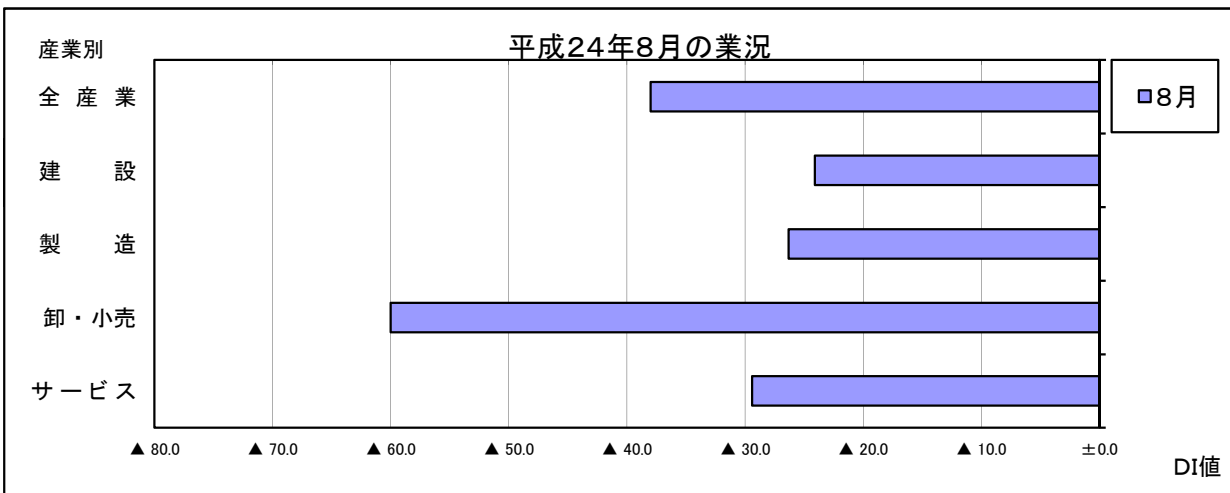
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲29.4(同▲35.2)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲26.3(同▲11.7)、卸小売業▲60.0(同▲48.5)、建設業▲24.1(同▲14.2)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲19.0(前月水準▲34.0)となり、マイナス幅が15.0ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同▲35.2)、製造業▲10.5(同▲35.2)、卸小売業▲28.5(同▲42.8)である。特に、サービス業はマイナス幅が35.2ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、建設業▲24.1(同▲21.4)である。

平成24年8月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲20.3	▲26.2	▲28.4	▲28.8	▲29.8	▲38.0	▲19.0(▲34.0)
建設	▲9.6	▲20.6	▲24.1	▲13.3	▲14.2	▲24.1	▲24.1(▲21.4)
製造	▲21.7	▲22.7	▲17.6	▲22.2	▲11.7	▲26.3	▲10.5(▲35.2)
卸・小売	▲35.2	▲41.1	▲35.4	▲57.5	▲48.5	▲60.0	▲28.5(▲42.8)
サービス	▲10.0	▲11.1	▲33.3	▲6.2	▲35.2	▲29.4	±0.0(▲35.2)



【平成24年8月の売上についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲39.0(前月水準▲17.5)となり、マイナス幅が▲21.5ポイント拡大した。

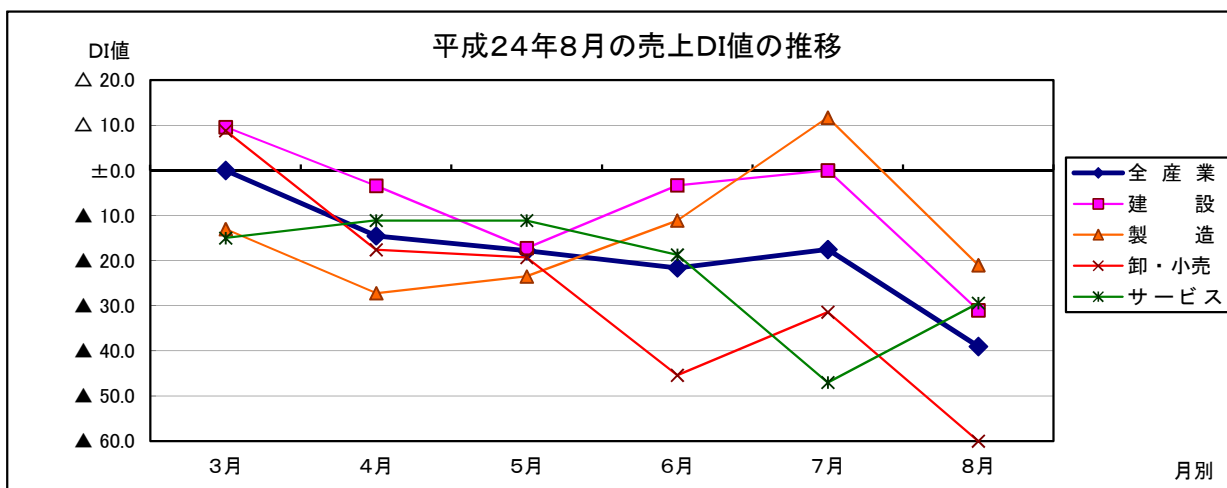
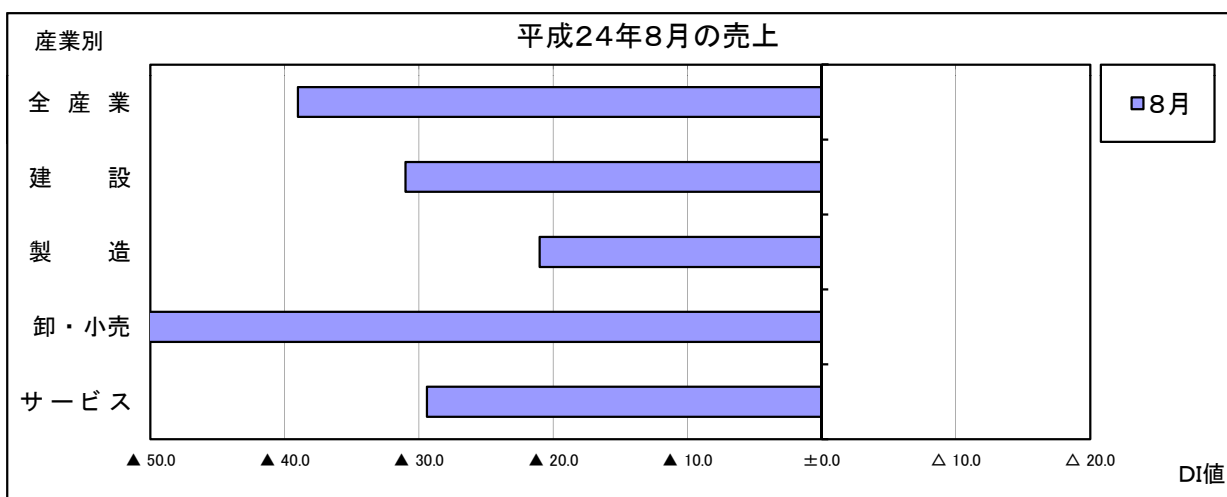
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲29.4(同▲47.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲21.0(同11.7)であり、32.7ポイントと大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲31.0(同±0.0)、卸小売業▲60.0(同▲31.4)であり、建設業はマイナス幅が▲31.0ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.0(前月水準▲22.6)となり、マイナス幅が18.6ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業11.7(同▲41.1)、製造業5.2(同▲35.2)である。特に、サービス業は52.8ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲17.1(同▲34.2)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、建設業▲3.4(同10.7)である。

平成24年8月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	±0.0	▲14.5	▲17.8	▲21.6	▲17.5	▲39.0	▲4.0(▲22.6)
建設	△9.6	▲3.4	▲17.2	▲3.3	±0.0	▲31.0	▲3.4(△10.7)
製造	▲13.0	▲27.2	▲23.5	▲11.1	△11.7	▲21.0	△5.2(▲35.2)
卸・小売	△8.8	▲17.6	▲19.3	▲45.4	▲31.4	▲60.0	▲17.1(▲34.2)
サービス	▲15.0	▲11.1	▲11.1	▲18.7	▲47.0	▲29.4	△11.7(▲41.1)



【平成24年8月の採算についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲40.0(前月水準▲38.1)となり、マイナス幅が▲1.9ポイント拡大した。

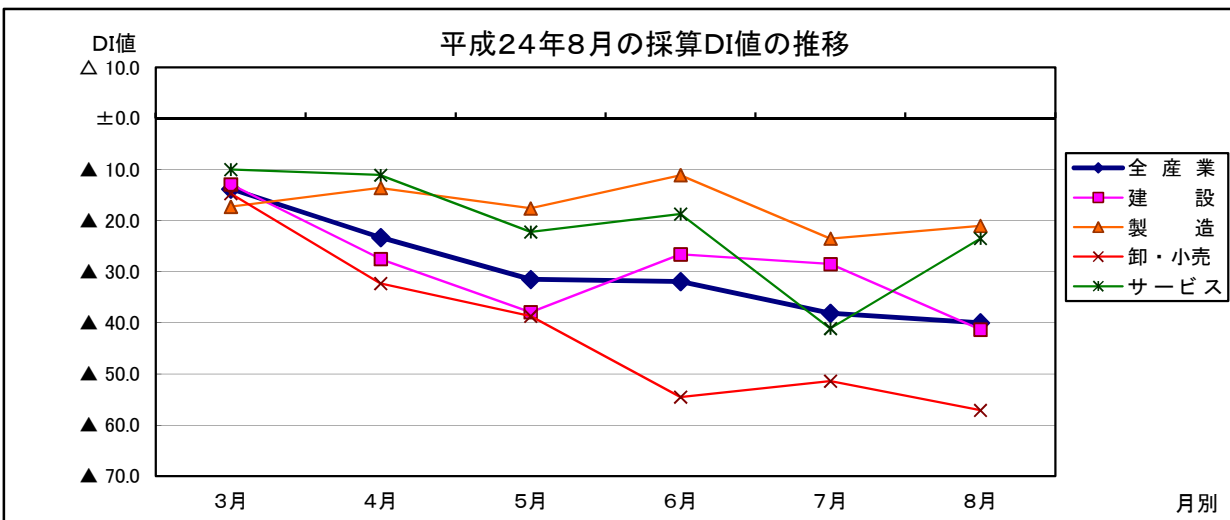
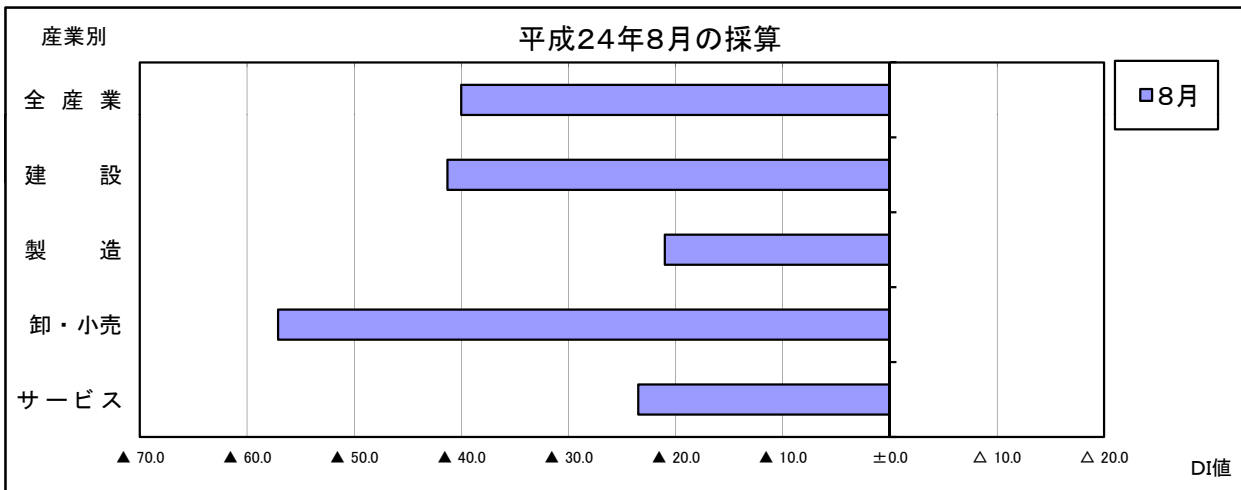
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲23.5(同▲41.1)、製造業▲21.0(同▲23.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲41.3(同▲28.5)、卸小売業▲57.1(同▲51.4)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.0(前月水準▲27.8)となり、マイナス幅が15.8ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業5.8(同▲35.2)、製造業5.2(同▲29.4)である。特に、サービス業は41.0ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲17.1(同▲34.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、建設業▲27.5(同▲14.2)である。

平成24年8月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲13.8	▲23.3	▲31.5	▲31.9	▲38.1	▲40.0	▲12.0(▲27.8)
建設	▲12.9	▲27.5	▲37.9	▲26.6	▲28.5	▲41.3	▲27.5(▲14.2)
製造	▲17.3	▲13.6	▲17.6	▲11.1	▲23.5	▲21.0	△5.2(▲29.4)
卸・小売	▲14.7	▲32.3	▲38.7	▲54.5	▲51.4	▲57.1	▲17.1(▲34.2)
サービス	▲10.0	▲11.1	▲22.2	▲18.7	▲41.1	▲23.5	△5.8(▲35.2)



【平成24年8月の仕入単価についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲10.0(前月水準▲18.5)となり、マイナス幅が8.5ポイント縮小した。

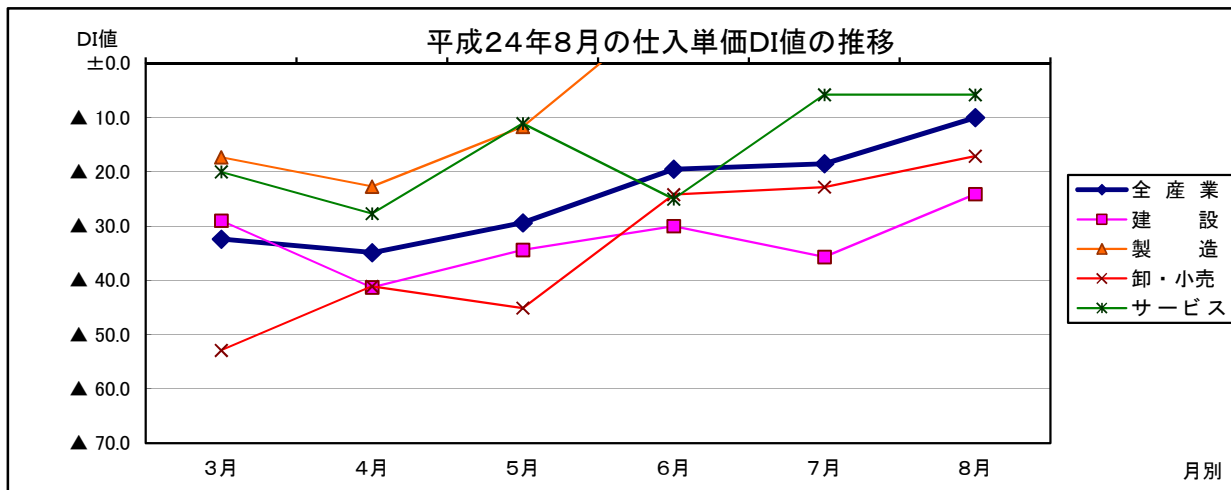
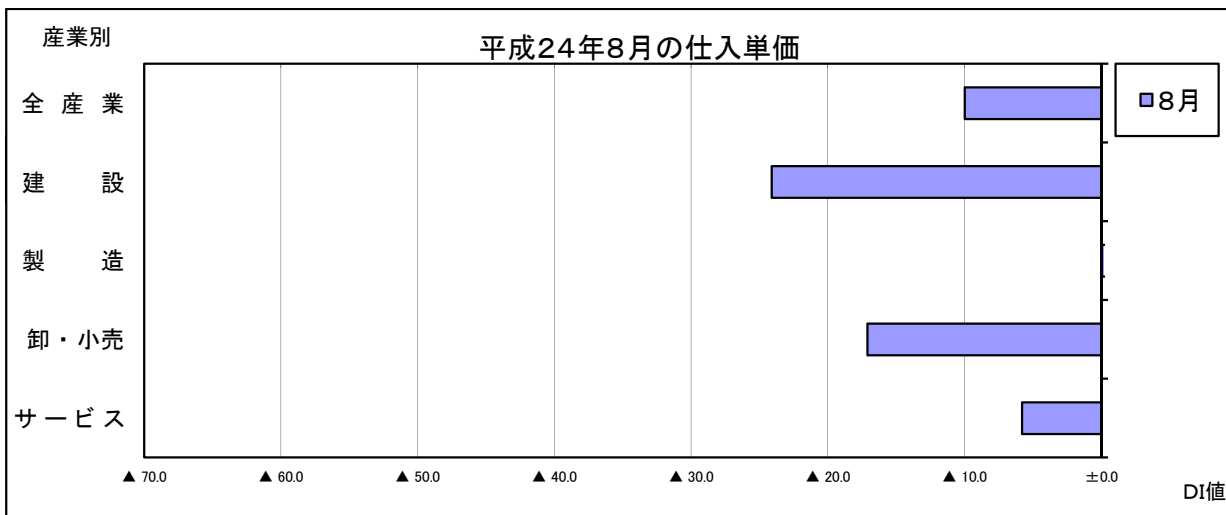
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業21.0(同5.8)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲24.1(同▲35.7)、卸小売業▲17.1(同▲22.8)である。変らない業種は、サービス業▲5.8(同▲5.8)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲14.0(前月水準▲19.5)となり、マイナス幅が5.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲14.2(同▲28.5)、製造業▲10.5(同▲11.7)、建設業▲20.6(同▲21.4)である。変らない見通しの業種は、サービス業▲5.8(同▲5.8)である。

平成24年8月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲32.4	▲34.9	▲29.4	▲19.5	▲18.5	▲10.0	▲14.0(▲19.5)
建設	▲29.0	▲41.3	▲34.4	▲30.0	▲35.7	▲24.1	▲20.6(▲21.4)
製造	▲17.3	▲22.7	▲11.7	△11.1	△5.8	△21.0	▲10.5(▲11.7)
卸・小売	▲52.9	▲41.1	▲45.1	▲24.2	▲22.8	▲17.1	▲14.2(▲28.5)
サービス	▲20.0	▲27.7	▲11.1	▲25.0	▲5.8	▲5.8	▲5.8(▲5.8)



【平成24年8月の従業員についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲2. 0(前月水準▲5. 1)となり、マイナス幅が3. 1ポイント縮小した。

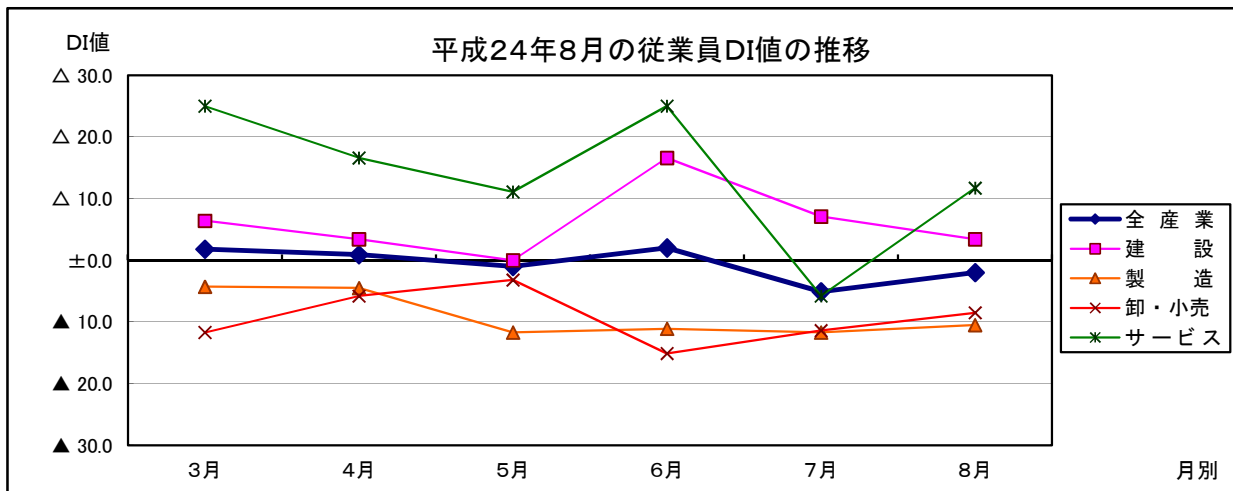
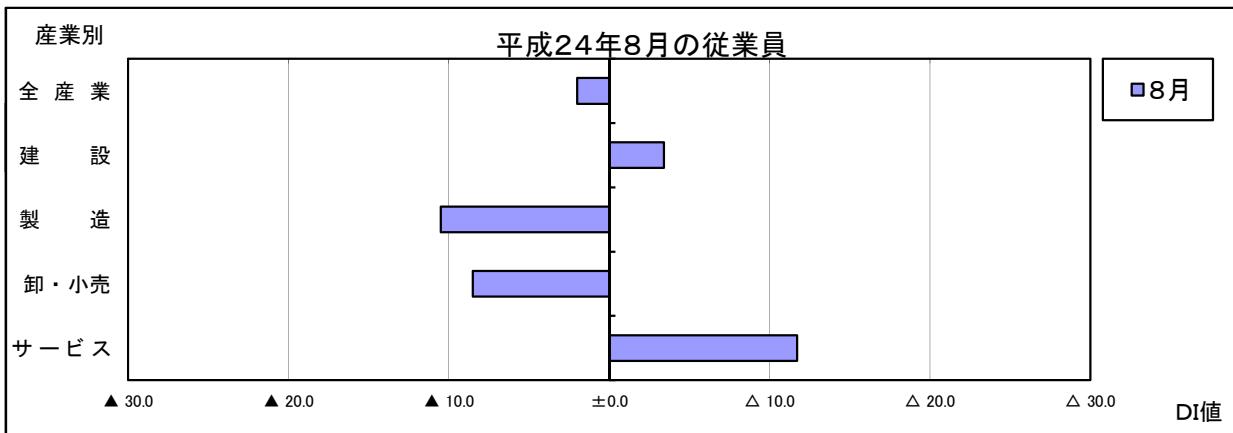
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、サービス業11. 7(同▲5. 8)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲8. 5(同▲11. 4)、製造業▲10. 5(同▲11. 7)である。プラス幅が縮小した業種は、建設業3. 4(同7. 1)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、2. 0(前月水準±0. 0)となり、プラス幅が2. 0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲2. 8(同▲8. 5)、製造業▲5. 2(同▲5. 8)である。変わらない見通しの業種は、サービス業11. 7(同11. 7)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業6. 8(同7. 1)である。

平成24年8月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	△ 1.8	△ 0.9	▲ 1.0	△ 2.0	▲ 5.1	▲ 2.0	△ 2.0( ±0.0 )
建設	△ 6.4	△ 3.4	±0.0	△ 16.6	△ 7.1	△ 3.4	△ 6.8( △ 7.1 )
製造	▲ 4.3	▲ 4.5	▲ 11.7	▲ 11.1	▲ 11.7	▲ 10.5	▲ 5.2( ▲ 5.8 )
卸・小売	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 3.2	▲ 15.1	▲ 11.4	▲ 8.5	▲ 2.8( ▲ 8.5 )
サービス	△ 25.0	△ 16.6	△ 11.1	△ 25.0	▲ 5.8	△ 11.7	△ 11.7( △ 11.7 )





【平成24年8月の資金繰りについての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲11.0(前月水準▲10.3)となり、マイナス幅が▲0.7ポイント拡大した。

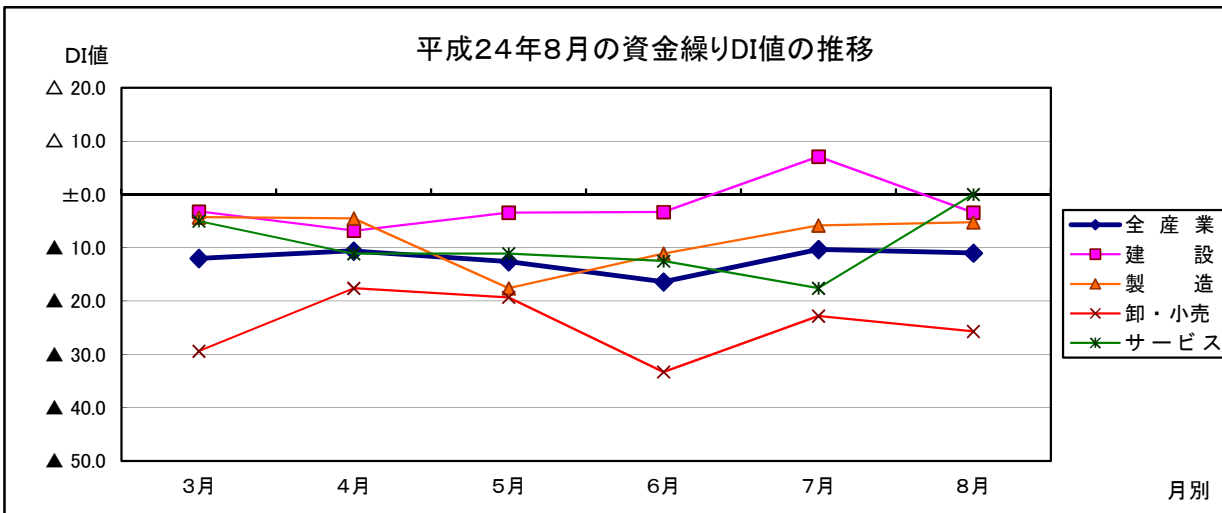
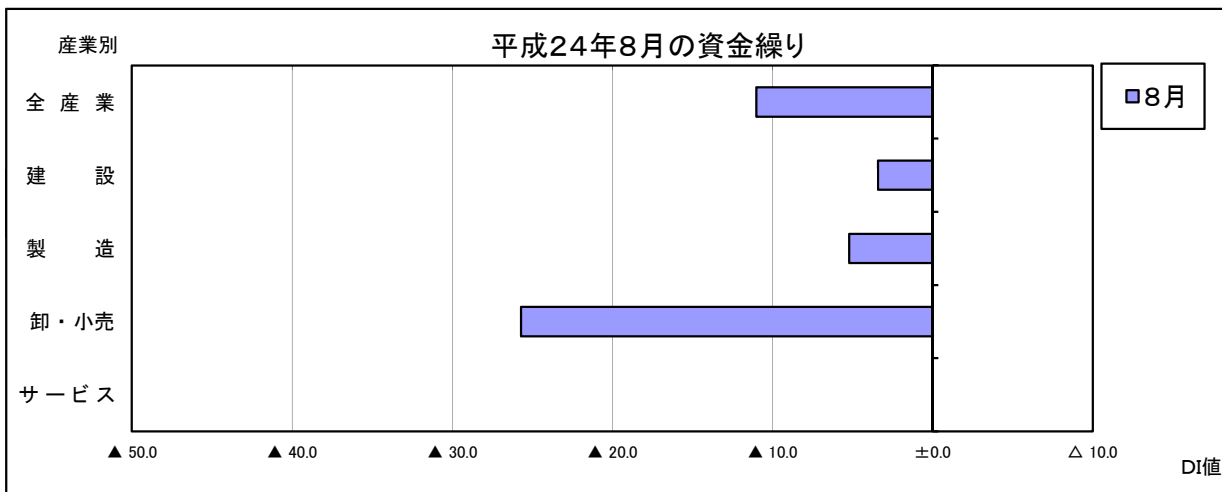
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同▲17.6)、製造業▲5.2(同▲5.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲3.4(同7.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲25.7(同▲22.8)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲8.0(前月水準▲14.4)となり、マイナス幅が6.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業11.7(同▲11.7)であり、23.4ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲10.5(同▲17.6)、卸小売業▲20.0(同▲22.8)、建設業▲3.4(同▲3.5)である。

平成24年8月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲12.0	▲10.6	▲12.6	▲16.4	▲10.3	▲11.0	▲8.0(▲14.4)
建設	▲3.2	▲6.8	▲3.4	▲3.3	△7.1	▲3.4	▲3.4(▲3.5)
製造	▲4.3	▲4.5	▲17.6	▲11.1	▲5.8	▲5.2	▲10.5(▲17.6)
卸・小売	▲29.4	▲17.6	▲19.3	▲33.3	▲22.8	▲25.7	▲20.0(▲22.8)
サービス	▲5.0	▲11.1	▲11.1	▲12.5	▲17.6	±0.0	△11.7(▲11.7)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 39.0	▲ 4.0	▲ 40.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 2.0	△ 2.0
建設	▲ 31.0	▲ 3.4	▲ 41.3	▲ 27.5	▲ 24.1	▲ 20.6	△ 3.4	△ 6.8
製造	▲ 21.0	△ 5.2	▲ 21.0	△ 5.2	△ 21.0	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 5.2
卸・小売	▲ 60.0	▲ 17.1	▲ 57.1	▲ 17.1	▲ 17.1	▲ 14.2	▲ 8.5	▲ 2.8
サービス	▲ 29.4	△ 11.7	▲ 23.5	△ 5.8	▲ 5.8	▲ 5.8	△ 11.7	△ 11.7

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 38.0	▲ 19.0	▲ 11.0	▲ 8.0
建設	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 3.4	▲ 3.4
製造	▲ 26.3	▲ 10.5	▲ 5.2	▲ 10.5
卸・小売	▲ 60.0	▲ 28.5	▲ 25.7	▲ 20.0
サービス	▲ 29.4	±0.0	±0.0	△ 11.7

【平成24年8月の業種別業界内トピックス】

業種別	概況		業種
建設	2極化のさらなる進行、忙しいところはさらに忙しく、消費税導入による駆け込み需要	二極化 消費税増税 駆け込み需要	一般土木建築工事業
	柏近郊の新築工事が昨年同様少ない	新築工事減少	石工れんがタイルブロック工事業
	家庭用太陽光発電の設備工事が増加した。節電の意識が高まり、機器の入れ替えは消費電力にポイントを置いている	太陽光発電 節電意識 設備入れ替え	電気工事業
	秋の受注が多くなってきました。工事が集中すると従業員が不足してしまう	受注増加 従業員不足	塗装工事業
	柏市内での新築工事の見積もりは確実に減っている。一部の建設会社は除染工事で忙しいようだが本来の建設工事は減少しているようだ。ただ消費税値上げの影響がリフォーム工事の見積もりが増えている。都内での新築工事の見積もりは増えているが材料値上げに対する売上単価の見直しはなく依然単価は下がっている状況。そのため物件数は多いが売上の伸びは伸びず忙しさは倍増している。今後も施工単価の下落材料値上げで苦しい状況が続くそう	新築工事減少 除染工事 消費税増税 リフォーム 原材料値上げ 売上単価下落 苦しい経営	その他の職別工事業
	8月はお盆休みもあり一般家庭の畳工事需要も少なかった。9月には季節の変わり目なので様々な注文が入ることを期待	お盆休み 工事減少	内装工事業
製造	8月は各企業の夏季休暇が長かったため売上採算は悪化。4～6月までは売上採算も前年より増加していたが、受注単価の値引き要求が強く他社との競争が激化	夏季休暇 売上採算悪化 値引き要求 競争激化	その他の金属製品製造業
	年々売上は縮んできています。それに対応できる形にするには今までの概念を変化させる勇気を持たねばならないと思う	売上減少	印刷業
	当社は部品メーカーであるが、最終商品の競争の激化に伴って、当社の製品の単価も長期的に下落を続けている。原材料として継続的に購入している、銀、白金などの価格が今後、値上がりしそうであり、影響を受ける。外注先で、操業停止する会社がある。	競争激化 売上単価下落 原材料値上げ	ガラス・同製品製造業
	材料値上がり。急ぎの仕事で短納期が多い。安定した仕事量が無い	原材料値上げ 短納期 仕事量不安定	建築用・建設用金属製品製造業
卸小売	前年、放射能の風評被害影響を受けた、食品・生鮮・精肉などは前年を上回って好調に推移。入店客数を前年と比較すると、お盆に新規催を開催した週で+5.0と好調であったが、8月を通してみると、微減の結果となっている。	風評被害 食料品好調 入店客数減少	百貨店
	8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がったほか、晩夏初秋物のプロパー商材が動いたことから、売上高は順調な推移となった。お盆休みによる帰省客などファミリー客が増加し、レストランを中心に好調であった。お盆休み明けの20日から入店客数・売上高ともに落ち込みをみせたが、23日からはテナントがセールを開催、24日には新店・リニューアル店が4店舗オープンし、セールの集客力を活かした館内告知を強化し、新店や他業種への波及効果を図り売上に繋げていく。	猛暑 秋物商戦 お盆休み 売上好調 セール効果 テナント新規開店	その他の各種商品小売業
	空調・照明等、節電が経費削減とられる場合があり、「甘い」節電に。このため「昨年同月」とは、で若干経費が上昇。	節電 経費増加	その他の各種商品小売業
	消費税増税、老後への不安、高齢化の影響でどんどん経営は難しくなっていくと思う。しかし、団塊の世代の層は厚く、まだまだ消費は急な落ち込みはないと思っている。ターゲット層にきちんと標的を絞って行うマーケティングの勉強が必要である。	消費税増税 高齢化 経営困難 マーケティング強化	各種食料品小売業
	気温が30度を超えると業種別の(生洋菓子)に厳しい。特に後半は残暑厳しく昨年よりも売上減になりました	猛暑 売上減少	菓子・パン小売業
猛暑でお客様の出足が鈍る	猛暑 来店客減少	菓子・パン小売業	

【平成24年8月の業種別業界内トピックス】

	残暑が厳しい中野菜の消費が減っていることが推測され入荷減に加え単価も安く動きは鈍化傾向にあります。果実は全般的に高値取引となって暑さと比例しているようです。また今後の政局の動向を見据えての消費者は買い控え傾向にあります。青果物の今後は雨不足に伴う秋野菜などに生育や入荷に大きく変化する可能性があります	猛暑 野菜消費減少 単価下落 買い控え 雨不足	食料・飲料卸売業
	酷暑によるガス消費量の減少。仕入単価はこれから上昇の姿勢。安売りによる業者切り替えなど今から好材料無し。ただし社員が自覚し顧客の傾向に応え切替件数は減少している	猛暑 ガス消費減少 仕入単価上昇 好材料無し	燃料小売業
	販売価格が依然として低い状態が続いている	価格低下	一般機械器具卸売業
サービス	前年同月との比較では売上は減少してしまった	売上減少	酒場・ビヤホール
	新規来館者が減少。お盆休み明けから若干戻りつつある	来店客減少	冠婚葬祭業
	競合他社の参入により柏エリアの宿泊の一室単価が減少、稼動は予算をクリア出来るが、一室単価が大きく下がり宿泊利益を圧迫。重油の価格が少しづつではあるが上がってきており、水光熱費が増える。	競合他社参入 単価下落 利益圧迫 光熱費増加	ホテル
	暑さの関係で昼間の客足がほとんどない。閉店時間が早いため一般の売上ダウン。夏場は無休にし客足が伸びてきた。	猛暑 来店客減少 売上減少	その他の飲食料品小売業
	個人需要・法人需要ともほぼ前年並み。先行きはこれからの動きになるので受注状況を注視したい	需要横ばい	旅行業
	盆明け以降も一般の客様からの問い合わせは少ない状況。地価、売中古住宅、建売住宅ともに価格は下がり気味。土地は消費税が上がるので動きが出てきた	受注減少 住宅価格下落 消費税増税の反動	不動産管理業
	消費税増税前の景気上昇に期待しています	消費税増税	不動産賃貸業
	団地の取り壊し建設が逐次なされています。更新後の同地区が活気づくことを期待し、西口エリアにも良い影響になればと思います	団地建て替え	不動産賃貸・管理業

### ◎猛暑

- 8月度初旬は暑さも厳しかったことからセール商材の消化に繋がったほか、晩夏初秋物のプロパー商材が動いたことから、売上高は順調な推移となった。お盆休みによる帰省客などファミリー客が増加し、レストランを中心に好
- 気温が30度を超えると業種的(生洋菓子)に厳しい。特に後半は残暑厳しく昨年よりも売上減になりました
- 猛暑でお客様の出足が鈍る
- 残暑が厳しい中野菜の消費が減っていることが推測され入荷減に加え単価も安く動きは鈍化傾向にあります。果実は全般的に高値取引となって暑さと比例しているようです。
- 酷暑によるガス消費量の減少。仕入単価はこれから上昇の姿勢。安売りによる業者切り替えなど今から好材料無し。ただし社員が自覚し顧客の傾向に応え切替件数は減少している

その他の各種商品小売業

菓子・パン小売業

菓子・パン小売業

食料・飲料卸売業

燃料小売業

### ◎消費税増税

- 2極化のさらなる進行、忙しいところはさらに忙しく、消費税導入による駆け込み需要
- 柏市内での新築工事の見積もりは確実に減っている。一部の建設会社は除染工事で忙しいようだが本来の建設工事は減少しているようだ。ただ消費税値上げの影響かりフォーム工事の見積もりが増えている。
- 消費税増税、老後への不安、高齢化の影響でどんどん経営は難しくなっていくと思う。しかし、団塊の世代の層は厚く、まだまだ消費は急な落ち込みはないと思っている。ターゲット層にきちんと標的を絞って行うマーケティングの勉強が必要である。
- 盆明け以降も一般のお客様からの問い合わせは少ない状況。地価、売中古住宅、建売住宅ともに価格は下がり気味。土地は消費税が上がるので動きが出てきた

一般土木建築工事業

その他の職別工事業

各種食料品小売業

不動産管理業

### ◎売上減少

- 年々売上は縮んできています。それに対応できる形にするには今までの概念を変化させる勇気を持たねばならないと思う
- 前年同月との比較では売上は減少してしまった
- 暑さの関係で昼間の客足がほとんどない。閉店時間が早いため一般の売上ダウン。

印刷業

酒場・ビヤホール

その他の飲食料品小売業








## 平成24年8月のCCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲38.0に対し、「CCI-LOBO」が▲23.8で、柏の方がマイナス幅が14.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪く、卸小売業・サービス業は10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲39.0に対し、「CCI-LOBO」が▲18.6で、柏の方がマイナス幅が20.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪く、建設業・卸小売業・サービス業は10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲40.0に対し、「CCI-LOBO」が▲21.1で、柏のほうマイナス幅が18.9ポイント大きい。「柏の景気」の方が全ての業種で悪く、建設業・卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲10.0に対し、「CCI-LOBO」が▲14.7で、柏の方がマイナス幅が4.7ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・サービスで、いずれも10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は卸小売業・建設業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲2.0に対し、「CCI-LOBO」が1.6で、柏の方がマイナス幅が3.6ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・サービス業。「柏の景気」の方が悪い業種は製造業・卸小売業で、卸小売業は10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲11.0に対し、「CCI-LOBO」が▲11.2で、柏の方がマイナス幅が0.2ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業で、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は卸小売業で、10ポイント以上悪い。











# 平成24年8月の柏の景気天気図











柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較











景気天気図					
	特に好調 DI 50	好調 50>DI 25	まあまあ 25>DI 0	不振 0>DI 25	極めて不振 25>DI











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 38.0	 24.1	 26.3	 60.0	 29.4
CCI LOBO	 23.8	 19.6	 21.9	 34.3	 16.6


売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 39.0	 31.0	 21.0	 60.0	 29.4
CCI LOBO	 18.6	 12.7	 17.5	 33.0	 10.2


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 40.0	 41.3	 21.0	 57.1	 23.5
CCI LOBO	 21.1	 22.4	 16.0	 33.0	 13.6

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 10.0	 24.1	 21.0	 17.1	 5.8
CCI LOBO	 14.7	 23.5	 15.3	 10.6	 16.2

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 2.0	 3.4	 10.5	 8.5	 11.7
CCI LOBO	 1.6	 2.0	 5.2	 4.0	 9.1

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 11.0	 3.4	 5.2	 25.7	 ±0.0
CCI LOBO	 11.2	 11.2	 9.4	 14.9	 11.0





 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目











 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目











# 平成24年8月の柏の景気天気図











柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較











景気天気図					
	特に好調 DI 50	好調 50>DI 25	まあまあ 25>DI 0	不振 0>DI 25	極めて不振 25>DI











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 38.0	 24.1	 26.3	 60.0	 29.4
CCI LOBO	 23.8	 19.6	 21.9	 34.3	 16.6


売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 39.0	 31.0	 21.0	 60.0	 29.4
CCI LOBO	 18.6	 12.7	 17.5	 33.0	 10.2


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 40.0	 41.3	 21.0	 57.1	 23.5
CCI LOBO	 21.1	 22.4	 16.0	 33.0	 13.6

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 10.0	 24.1	 21.0	 17.1	 5.8
CCI LOBO	 14.7	 23.5	 15.3	 10.6	 16.2

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 2.0	 3.4	 10.5	 8.5	 11.7
CCI LOBO	 1.6	 2.0	 5.2	 4.0	 9.1

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 11.0	 3.4	 5.2	 25.7	 ±0.0
CCI LOBO	 11.2	 11.2	 9.4	 14.9	 11.0

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目



# CCI - LOBO

## 商工会議所早期景気観測(8月速報)

調査期間：平成24年8月17日～23日

調査対象：全国の417商工会議所が3015業種組合等にヒアリング調査を実施

### 全国の業況 業況DIは、小幅改善、先行き不安は強まる

8月の全産業合計の業況DIは、23.8と、前月から+1.4ポイントの小幅改善。震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されているほか、観光客、帰省客が多かったことから、小売や観光関連を中心に好調。比較対象の昨夏は、節電対応による休日変更に伴い、まとまった夏休みが取れないケースが多かったことも一因。一方、超円高等を背景に、取引先の海外移転・調達が加速していることなどから受注低迷が長期化、中小製造業を取り巻く環境は厳しさを増している。

先行きについては、先行き見通しDIが、26.1(今月比 2.3ポイント)と、悪化する見込み。超円高の定着に加え、電力料金の値上げによるコスト増や、穀物価格の高騰、エコカー補助金終了による内需の反動減等への懸念から、先行きへの不安が強まっている。

産業別にみると、業況DIは、建設業、小売業で改善、サービス業はほぼ横ばい、そ

### 他の2業種は悪化

各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「民間工事は低調なもの、公共工事は順調に受注出来ている」(電気工事業)、「技術承継のため、新卒の技術者を数名採用したが、募集しても応募がない」(一般工事業)、「鉄筋や型枠工事等の技能工の不足に伴う賃金上昇による収益圧迫を懸念」(一般工事業)

【製造業】「原材料価格が昨年末から約3割上昇。販売価格に転嫁できず、経営が厳しい」(水産食品製造業)、「エコカー補助金が終了間近であることから、取引先が減産し始めており、受注が減少」(自動車部品製造業)、「取引先が海外生産へシフトしたことから受注が停止。先行きの見通しが立たず、希望退職者を募集せざるを得ない」(プレス・板金加工業)

物価格の高騰に伴い、加工食品の仕入価格も上昇(食料品卸売業)、「取引先からのコストダウン要請が常態化しており、利益確保が困難」(服飾付属品卸売業)

【小売業】「お盆商戦は、生鮮食品・ギフト関連が好調。衣料・雑貨の夏物処分セールも継続中だが、初秋向け商品の動きも出始めた」(百貨店)、「テレビショッピングやネット販売の利用者が増加しており、地元小売店への影響を懸念」(商店街)、「県外からディスプレイカウンタースタアが進出したほか、コンビニの出店が本格化しており、売上の確保が難しい」(地元スーパー)

【卸売業】「住宅建設が堅調に推移しているが、青森ヒバが不足し、仕入価格が上昇」(建築材料卸売業)、「米国の干ばつの影響による穀

【サービス業】「製造業の海外移転や国内生産縮小による、物流量の減少を懸念」(運送業)、「電気料金が前年比で10%増となり、収益を圧迫している」(飲食店)、「観光客は昨夏と比べて増加したものの、客単価が低調で、売上も伸び悩んでいる」(旅館)

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	▲23.9	▲33.6	▲15.3	▲27.4	▲30.0	▲18.1
4月	▲16.8	▲24.0	▲9.5	▲17.3	▲27.5	▲9.6
5月	▲17.5	▲24.9	▲7.5	▲14.0	▲29.3	▲13.8
6月	▲21.3	▲19.1	▲13.7	▲14.5	▲34.2	▲21.5
7月	▲25.2	▲25.8	▲18.1	▲23.6	▲43.1	▲15.6
8月	▲23.8	▲19.6	▲21.9	▲27.3	▲34.3	▲16.6
見通し	▲26.1	▲27.0	▲27.5	▲22.3	▲33.1	▲18.7

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI